



## Cisco IP 会議用電話 8832 ユーザーガイド

初版：2017年9月15日

最終更新：2021年7月12日

### シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

**【注意】** シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（[www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The following information is for FCC compliance of Class A devices: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio-frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case users will be required to correct the interference at their own expense.

The following information is for FCC compliance of Class B devices: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If the equipment causes interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, users are encouraged to try to correct the interference by using one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Modifications to this product not authorized by Cisco could void the FCC approval and negate your authority to operate the product.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at [www.cisco.com/go/offices](http://www.cisco.com/go/offices).

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2017–2021 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



## 目次

### 第 1 章

#### 電話機 1

お使いの Cisco IP 会議用電話 8832 および 8832NR	1
機能のサポート	2
新規および変更情報	2
ファームウェアリリース 14.1(1) の新規および変更情報	2
ファームウェアリリース 14.0(1) の新規および変更情報	3
ファームウェアリリース 12.8(1) の新規および変更情報	3
ファームウェア リリース 12.7(1) の新機能および変更された機能	3
ファームウェア リリース 12.1(1) の新規および変更情報	3
ファームウェア リリース 12.5(1) SR3 の新規および変更情報	4
ファームウェア リリース 12.5(1) SR2 の新規および変更情報	4
ファームウェアリリース 12.5 (1) SR1 の新規および変更情報	4
ファームウェア リリース 12.5(1) の新規および変更情報	4
ファームウェア リリース 12.1(1) の新規および変更情報	4
電話機のセットアップ	5
ネットワークへの接続	6
Wi-Fi クライアントのセットアップ	7
事前設定済み Wi-Fi ネットワークへの接続	8
アクティベーションコードオンボーディングで接続する	8
Expressway への接続	8
有線拡張マイクの取り付け	9
ワイヤレス拡張マイクの取り付け	10
ワイヤレスマイクのペアリング	10
ワイヤレスマイクのペアリングの解除	11

ワイヤレスマイクの充電クレードルの取り付け	11
ワイヤレスマイクの充電	12
デジチェーンモード	13
デジチェーンモードでの会議電話の設置	13
既存の電話機を新しい電話機に置き換え	15
セルフケアポータル	16
短縮ダイヤル番号	17
Cisco IP 会議用電話 8832 のボタンとハードウェア	18
会議電話のメニュー操作	20
会議電話のソフトキー	20
電話のアイコンを使用	20
電話機のキーパッド文字	21
電話画面のクリーニング	22
有線拡張マイク	22
ワイヤレス拡張マイク	23
電話ファームウェアとアップグレード	24
電話機アップグレードの延期	24
電話機ファームウェアアップグレードの進捗状況の確認	24
省電力	25
電話機の電源を入れる	25
追加のヘルプと情報	25
アクセシビリティ機能	26
の聴覚障害者向けのアクセシビリティ機能	26
視覚障がい者向けアクセシビリティ機能	28
の運動障がい者障害向けアクセシビリティ機能	30
サードパーティのアクセシビリティアプリケーション	32
トラブルシューティング	32
電話機に関する情報の検索	32
通話品質の問題を報告する	32
電話機のすべての問題を報告する	33
電話機の接続の切断	33

シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定 33

## 第 2 章

### 通話 35

- コールの発信 35
  - 電話をかける 35
  - 電話のアドレスを使用したコールの発信 35
  - 番号のリダイヤル 36
  - 短縮ダイヤル 36
    - 会議電話からの短縮ダイヤル発信 36
    - 短縮ダイヤル コードを使用して発信 37
  - 連絡先が対応可能な場合の通知 37
  - 国際番号のダイヤル 37
  - 安全なコール 38
- コールへの応答 38
  - コールに応答する 38
  - 会議電話でコール ウェイティングへ応答する 38
  - コールの拒否 38
  - 応答不可をオンにする 39
  - ハントグループ内のコールへの応答 39
    - ハント グループへのログインとハントグループからのログアウト 40
    - ハント グループでの通話キューの表示 40
  - 不審なコールのトレース 40
- コールのミュート 41
- コールの保留 41
  - コールを保留にする 41
  - 長時間にわたって保留されているコールに応答する 41
  - アクティブコールと保留コールの切り替え 42
  - コールパーク 42
    - コールパークを使用してコールを保留にする 42
    - コールパークを使用して保留中コールを取得する 43
- コールの転送 43

通話の転送	44
別の担当者にコールを転送する	44
転送を行う前の会話	44
電話会議とミーティング	45
他の人をコールに追加する	45
会議を確立する前にコール間を切り替える	45
会議参加者の表示と削除	46
ボイスメール	46
新しいボイス メッセージの確認	47
ボイスメール メッセージへのアクセス	47

---

**第 3 章****連絡先 49**

社内ディレクトリ(Corporate Directory)	49
社内ディレクトリの連絡先のダイヤル	49
パーソナルディレクトリ	49
パーソナルディレクトリのサインインおよびサインアウト	50
パーソナルディレクトリに新しい連絡先を追加する	50
パーソナルディレクトリの連絡先の検索	50
パーソナルディレクトリ内の連絡先への発信	51
ファストダイヤルコードの連絡先への割り当て	51
ファストダイヤルコードを使用した連絡先への発信	52
パーソナルディレクトリの連絡先を編集する	52
パーソナルディレクトリから連絡先を削除する	52
ファストダイヤルコードの削除	53
Cisco Web Dialer	53

---

**第 4 章****通話履歴 55**

最近の通話リスト	55
最近の通話履歴を表示する	55
最近の通話履歴に戻る	56
最近の通話履歴を消去する	56

コールレコードの削除 56

---

第 5 章

**設定 59**

呼出音の変更 59

着信音量の調節 59

コール中に音量を調節する 60

電話機の表示言語 60

---

第 6 章

**アプリケーション 61**

使用できるアプリケーション 61

アクティブアプリケーションの表示 61

アクティブアプリケーションへの切り替え 62

アクティブアプリケーションの終了 62

---

第 7 章

**の製品安全性とセキュリティ 63**

準拠宣言 63

EU への適合宣言 63

CE マーク 63

適合宣言 (カナダ) 63

FCC 準拠宣言 64

FCC Part 15.21 宣言 64

FCC RF 被曝に関する宣言 64

FCC レシーバーおよびクラス B デジタル装置に関する宣言 64

シスコ製品のセキュリティの概要 64

重要なオンライン情報 65







# 第 1 章

## 電話機

- お使いの Cisco IP 会議用電話 8832 および 8832NR (1 ページ)
- 新規および変更情報 (2 ページ)
- 電話機のセットアップ (5 ページ)
- セルフケア ポータル (16 ページ)
- Cisco IP 会議用電話 8832 のボタンとハードウェア (18 ページ)
- 電話ファームウェアとアップグレード (24 ページ)
- 省電力 (25 ページ)
- 追加のヘルプと情報 (25 ページ)

## お使いの Cisco IP 会議用電話 8832 および 8832NR

Cisco IP 会議用電話 8832 および 8832NR は、中～大規模の会議室やエグゼクティブ オフィス向けに高解像度 (HD) のオーディオ パフォーマンスと 360 度のカバレッジを提供します。会議電話のマイクは感度が高いため、通常の声で話すことができ、最大 2.1 m (10 フィート) 離れた場所からでも声をはっきりと聞こえます。

図 1: Cisco IP 会議用電話 8832



大きな会議室でのカバレッジを高めるため、電話機に2つの有線拡張マイクを接続できます。電話機は、オプションのワイヤレス拡張マイク 2 個のセットもサポートしています。

Cisco IP 会議用電話 8832NR（非無線）バージョンでは、Wi-Fi や無線拡張マイクはサポートされません。

電話機は、6.1 X 6.1 m（20 X 20 フィート）の部屋で最大 10 人まで使用できます。拡張マイクを追加すると、部屋は 6.1 X 10 m（20 X 34 フィート）に、人数は最大 22 人にカバレッジが拡張されます。

部屋のカバレッジを高めるため、2つの基本ユニットを接続することができます。この設定ではオプションのデ이지チェーンキットが必要で、2つの拡張マイク（有線またはワイヤレス、組み合わせは不可）をサポートできます。デ이지チェーンキットで有線マイクを使用する設定では、6.1 X 15.2 m（20 X 50 フィート）までの部屋と最大 38 人のカバレッジを提供します。デ이지チェーンキットでワイヤレスマイクを使用する設定では、6.1 X 17.4 m（20 X 57 フィート）までの部屋と最大 42 人のカバレッジを提供します。

## 機能のサポート

このドキュメントでは、デバイスがサポートするすべての機能について説明します。ただし、すべての機能が現在お使いの構成でサポートされているとは限りません。サポート対象機能については、管理者に連絡してください。

## 新規および変更情報

以下のセクションの情報を参照すると、マニュアルの変更内容を理解できます。各セクションには、主な変更点が記載されています。

### ファームウェアリリース 14.1(1) の新規および変更情報

次の情報は、ファームウェアリリース 14.1(1) の新規または変更された情報です。

機能	新機能および変更情報
拡張された短縮ダイヤル	<a href="#">別の担当者にコールを転送する (44 ページ)</a>
改善されたハントグループのコールアラート	<a href="#">ハントグループ内のコールへの応答 (39 ページ)</a>

## ファームウェアリリース14.0(1)の新規および変更情報

表 1: 新規および変更情報

機能	新機能および変更情報
ハントグループの機能拡張	<a href="#">最近の通話リスト</a> (55 ページ)
コールパークの機能拡張	<a href="#">コールパークを使用してコールを保留にする</a> (42 ページ)

## ファームウェアリリース 12.8(1) の新規および変更情報

表 2: ファームウェアリリース 12.8(1) の新規および変更情報

機能	新しいまたは変更されたコンテンツ
電話データの移行	<a href="#">既存の電話機を新しい電話機に置き換え</a> (15 ページ)

## ファームウェア リリース 12.7(1) の新機能および変更された機能

次の表に、ファームウェア リリース 12.7 (1) で加えられた変更を示します。

表 3: ファームウェアリリース12.1 (1) に関する Cisco IP 会議用電話 8832 ユーザガイドの改訂

改訂	更新されたセクション
コールアラートのハントグループコール用に更新されました	<a href="#">ハントグループ内のコールへの応答</a> (39 ページ)
一般的な変更	特定の状況において、ビジーの番号をダイヤルしたユーザが、再発注トーンを受信しました。このリリースでは、ユーザは話中音が聞こえます。  <a href="#">新しいセクション会議電話のメニュー操作</a> (20 ページ)、 <a href="#">会議電話のソフトキー</a> (20 ページ)、 <a href="#">電話のアイコンを使用</a> (20 ページ)、および <a href="#">電話画面のクリーニング</a> (22 ページ)。

## ファームウェア リリース 12.1(1) の新規および変更情報

ファームウェア リリース 12.6(1) にはユーザ ガイドの更新は必要ありません。

## ファームウェア リリース 12.5(1) SR3 の新規および変更情報

次の表は、ファームウェアリリース 12.5 (1) SR3 に対して行われた変更を示しています。

表 4: ファームウェアリリース 12.1 (1) に関する Cisco IP 会議用電話 8832 ユーザガイドの改訂

改訂	新規または更新されたセクション
新しいトピック	電話機のキーパッド文字 (21 ページ)

## ファームウェア リリース 12.5(1) SR2 の新規および変更情報

ファームウェアリリース 12.5 (1) SR2 に関するユーザガイドの更新は必要ありません。

ファームウェアリリース 12.5 (1) SR2 は、ファームウェアリリース 12.5 (1) およびファームウェア 12.5 (1) SR1 に代わるものです。ファームウェアリリース 12.5 (1) およびファームウェアリリース 12.5 (1) SR1 は、ファームウェアリリース 12.5 (1) を優先して使用が延期されています。

## ファームウェアリリース 12.5 (1) SR1 の新規および変更情報

ファームウェア リリース 12.5(1)SR1 に必要な更新はありませんでした。

## ファームウェア リリース 12.5(1) の新規および変更情報

ファームウェア リリース 12.5(1) に必要な更新はありませんでした。

## ファームウェア リリース 12.1(1) の新規および変更情報

次の表に、ファームウェアリリース 12.1 (1) に加えられた変更を示します。

表 5: ファームウェアリリース 12.1 (1) に関する Cisco IP 会議用電話 8832 ユーザガイドの改訂

改訂	新規または更新されたセクション
のサポートへの更新 Cisco IP 会議用電話 8832 PoE インジェクタ	ネットワークへの接続 (6 ページ)

改訂	新規または更新されたセクション
ワイヤレス マイクのサポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>• お使いの Cisco IP 会議用電話 8832 および 8832NR (1 ページ)</li> <li>• ワイヤレス拡張マイク (23 ページ)</li> <li>• ワイヤレス拡張マイクの取り付け (10 ページ)</li> <li>• ワイヤレス マイクのペアリング (10 ページ)</li> <li>• ワイヤレス マイクのペアリングの解除 (11 ページ)</li> <li>• ワイヤレスマイクの充電クレードルの取り付け (11 ページ)</li> <li>• ワイヤレスマイクの充電 (12 ページ)</li> </ul>
デジチェーンのサポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>• お使いの Cisco IP 会議用電話 8832 および 8832NR (1 ページ)</li> <li>• デジチェーン モード (13 ページ)</li> </ul>
Cisco IP 会議用電話 8832非 PoE イーサネット インジェクタ のサポート	ネットワークへの接続 (6 ページ)
Wi-Fi のサポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ネットワークへの接続 (6 ページ)</li> <li>• Wi-Fi クライアントのセットアップ (7 ページ)</li> <li>• 事前設定済み Wi-Fi ネットワークへの接続 (8 ページ)</li> </ul>
Expressway 経由モバイルおよび Remote Access のサポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ネットワークへの接続 (6 ページ)</li> <li>• Expressway への接続 (8 ページ)</li> </ul>
CMC と FAC のサポート	課金コードまたは承認コードを必要とするコール

## 電話機のセットアップ

電話機のセットアップとネットワーク接続は管理者が行います。電話機の設定と接続が完了していない場合は、管理者に手順を問い合わせてください。

## ネットワークへの接続

電話機をネットワークに接続する必要があります。

- 有線ネットワーク接続：すべての有線ネットワーク接続が次のいずれかを使用します。
  - **PoE 展開**：電話機を **Cisco IP 会議用電話 8832 PoE インジェクタ** (CP-8832-POE) に接続し、イーサネットケーブルを使用してインジェクタをネットワークに接続します。
  - **PoE 以外の展開**：電話機を **Cisco IP 会議用電話 8832非 PoE イーサネットインジェクタ** (CP-8832-ETHまたはCP-8832-ETH-WW) に接続します。次に、イーサネットケーブルを使用してインジェクタをネットワークに接続し、インジェクタを電気コンセントに差し込みます。
- ワイヤレス接続：Cisco IP 会議用電話 8832 は、Wi-Fi を使用してワイヤレス アクセス ポイントに接続できます。この導入では、電源装置 (CP-8832-PWR または CP-8832-PWR-WW) が必要です。

Expressway 経由モバイルおよび Remote Access：管理者が Expressway 経由モバイルおよび Remote Access を設定していて、電話機がネットワークに接続されている場合、Expressway サーバに自動的に接続されます。



- (注) CP-8832-ETH および CP-8832-PWR は北米向けです。CP-8832-ETH-WW および CP-8832-PWR-WW はその他の場所向けです。

図 2: PoE の導入

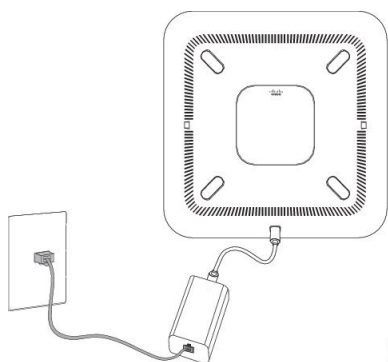


図 3: PoE 以外の導入

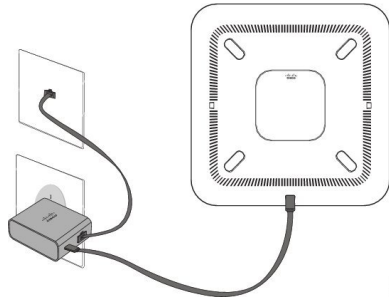
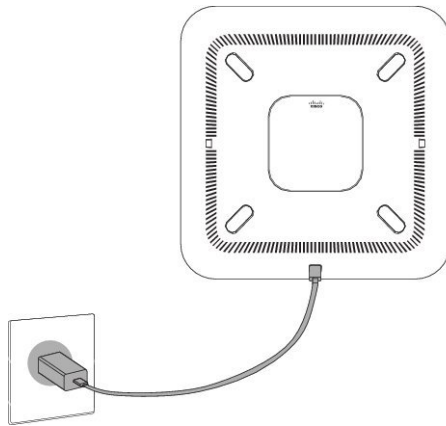


図 4: Wi-Fi ネットワーク接続



## Wi-Fi クライアントのセットアップ

Cisco IP 会議用電話 8832 は Wi-Fi ネットワークにアクセスできます。電話機に電力を供給する電源アダプタが必要です。Cisco IP 会議用電話 8832 NR は Wi-Fi ネットワークでは使用できません。

### 始める前に

Wi-Fi アクセスを有効にするには、管理者がコール制御システムで設定を行う必要があります。

### 手順

- ステップ 1 電話機がイーサネットに接続されている場合は、イーサネットケーブルを取り外します。
- ステップ 2 [設定 (Settings)] を押します。
- ステップ 3 [管理者設定 (Admin settings)] > [ネットワークのセットアップ (Network setup)] > [Wi-Fi クライアントのセットアップ (Wi-Fi client setup)] に移動します。
- ステップ 4 [ワイヤレス (Wireless)] に移動して、[オン (On)] を押します。
- ステップ 5 [適用 (Apply)] を押して変更内容を保存するか、[復元 (Revert)] を押して変更をキャンセルします。

**ステップ6** [ネットワーク名(Network name)]に移動します。

**ステップ7** 電話機が SSID のスキャンを終了したら、参加するネットワークを選択します。

**ステップ8** Wi-Fi 認証情報を入力し、[接続 (Connect)] を押します。

---

## 事前設定済み Wi-Fi ネットワークへの接続

Cisco IP 会議用電話 8832 は Wi-Fi を使用してネットワークに接続できますが、セキュリティ上の理由から、ユーザ名とパスワードを入力してください。ただし、Cisco IP 会議用電話 8832 NR は Wi-Fi をサポートしていません。

電話機の設定方法によっては、Wi-Fi ネットワークに参加したとき、または電話機が起動したときに、サインインが必要になる場合があります。

正しいユーザ名とパスワードを入力するまで、Wi-Fi サインイン ウィンドウを消すことはできません。

### 手順

---

**ステップ1** 要求されたら、Wi-Fi クレデンシャルを入力します。

**ステップ2** [サインイン (Sign-in)] を選択します。

---

## アクティベーションコード オンボーディングで接続する

ネットワークがこの機能をサポートするように設定されている場合、アクティベーションコード オンボーディングを使用して、会社の電話ネットワークに接続することができます。

### アクティベーションコードを入力する

アクティベーションコードは、新しい電話機の設定に使用されます。1 回のみ使用でき、1 週間後に有効期限が切れます。コードがわからない場合や新しいコードが必要な場合は、管理者に連絡してください。

### 手順

---

**ステップ1** アクティベーション画面にアクティベーションコードを入力します。

**ステップ2** [送信] を押します。

---

## Expressway への接続

Expressway 経由でのモバイルおよび Remote Access を使用すると、オフィス外で勤務しているときでも社内ネットワークに接続できます。



## 手順

- ステップ1 サービスモードのリセットは、[設定 (Settings)] > [管理者設定 (Admin Settings)] > [設定のリセット (Reset Settings)] > [サービスモード (Service mode)] から行います。
- ステップ2 サービスモードの変更を促すメッセージが表示されたら、[選択 (Select)] を押します。
- ステップ3 サービスドメインを入力し、[続行 (Continue)] を押します。
- ステップ4 ユーザ名とパスワードを入力します。
- ステップ5 [サインイン (Sign In)] を選択します。

## 有線拡張マイクの取り付け

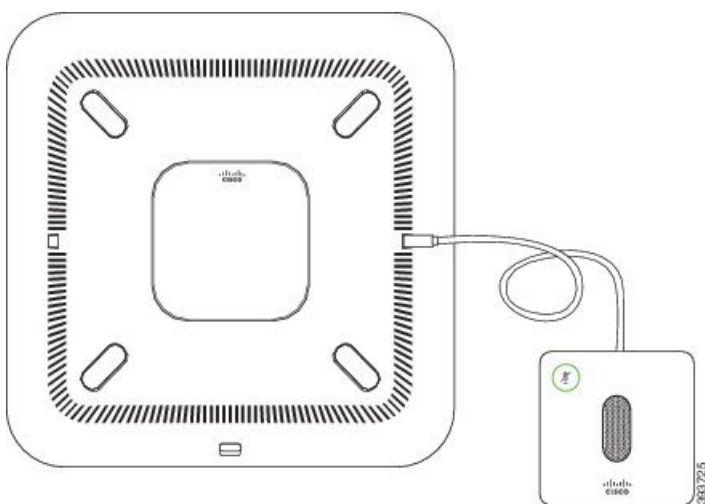
電話は、2つの有線拡張マイクを備えたオプションキットをサポートしています。マイクは電話機から最大 2.13 m (7 フィート) まで延長できます。最適な効果を得るために、携帯電話から 3 フィート (0.91 メートル) から 7 フィート (2.1 メートル) の間にマイクを置きます。

## 手順

- ステップ1 電話の側面のポートにマイクケーブルの端を差し込みます。
- ステップ2 マイクのケーブルを希望する位置まで延長します。

次の図は、有線拡張マイクの取り付けを示しています。

図 5: 有線拡張マイクの取り付け



## 関連トピック

[有線拡張マイク](#) (22 ページ)

## ワイヤレス拡張マイクの取り付け

会議電話には、2つのワイヤレス拡張マイクを接続するオプションがあります。



- (注) 電話機と一緒に2つの有線マイクまたは2つのワイヤレスマイクを使用できますが、2種類のマイクを組み合わせることはできません。

電話機の通話時は、拡張マイクのLEDが緑色に点灯します。拡張マイクをミュートするには、[ミュート (Mute)] キーを押します。マイクをミュートにすると、LEDが赤く点灯します。マイクのバッテリーが少なくなると、電池残量表示LEDがすばやく点滅します。

### 始める前に

ワイヤレス拡張マイクを取り付ける前に、有線拡張マイクを取り外します。有線およびワイヤレス拡張マイクは同時に使用できません。

### 手順

- ステップ1** マイクを配置するテーブルの表面で、テーブルマウントプレートを置く位置を決めます。
- ステップ2** テーブルマウントプレートの底面に付いている両面テープの接着面を剥がします。テーブルマウントプレートを配置し、テーブルの表面に接着します。
- ステップ3** テーブルマウントプレートにマイクを取り付けます。マイクには磁石が埋め込まれているので、ユニットが所定の場所にくっつきます。

マイクと取り付けたテーブルマウントは、必要に応じてテーブルの表面上の別の場所に移動できます。ユニットを保護するため、移動する際は慎重に行ってください。

### 関連トピック

[ワイヤレス拡張マイク](#) (23 ページ)

[ワイヤレス拡張マイクの取り付け](#) (10 ページ)

## ワイヤレスマイクのペアリング

### 始める前に

すべての有線マイクを取り外します。


### 手順

- ステップ1** [設定 (Settings)] を押します。

ステップ2 [管理者設定 (Admin Settings)] > [マイク (Microphones)] > [ワイヤレスマイク (Wireless microphones)] を選択します。

ステップ3 [マイク1 (Microphone 1)] または [マイク2 (Microphone 2)] のいずれかを選択し、[ペア (Pair)] を押します。

マイクが既に特定のチャンネルにリンクされている場合、電話機の画面にマイクがペアリングされていることが示されます。

ステップ4 ワイヤレスマイクの [ミュート (Mute)]  を、マイクのLEDが白く点滅するまで押します。ペアリングが成功すると、電話機の画面に成功のメッセージが表示されます。

ステップ5 (任意) [キャンセル (Cancel)] を押し、[ワイヤレスマイク (Wireless microphones)] メニューに戻ります。

---

#### 関連トピック

[ワイヤレス拡張マイク](#) (23 ページ)

## ワイヤレスマイクのペアリングの解除

#### 手順

---

ステップ1 [設定 (Settings)] を押します。

ステップ2 [管理者設定 (Admin Settings)] > [マイク (Microphones)] > [ワイヤレスマイク (Wireless microphones)] を選択します。

ステップ3 [マイク1 (Microphone 1)] または [マイク2 (Microphone 2)] のいずれかを選択します。

選択したチャンネルがペアリングされている場合、[ペア解除 (Unpair)] ソフトキーが電話機の画面に表示されます。

ステップ4 [ペア解除] を押します。

---

#### 関連トピック

[ワイヤレス拡張マイク](#) (23 ページ)

## ワイヤレスマイクの充電クレードルの取り付け

ワイヤレスマイクの電池を充電するには、充電クレードルを使用します。

#### 手順

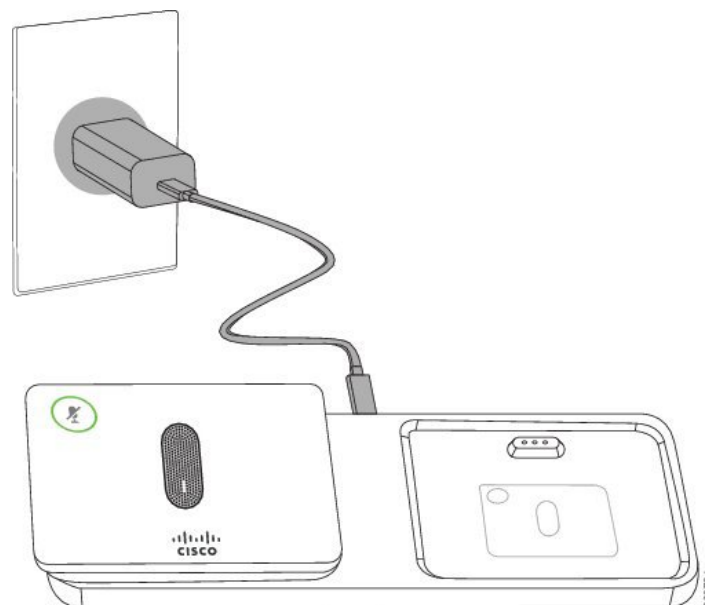
---

ステップ1 充電クレードルの電源アダプタを電源コンセントに差し込みます。

**ステップ2** 充電クレードルに USB-C ケーブルの一方の端を差し込み、もう一方の端を電源アダプタに差し込みます。

次の図は、ワイヤレスマイク充電クレードルの取り付けを示しています。

図 6: ワイヤレスマイクの充電クレードルへの充電



---

#### 関連トピック

[ワイヤレス拡張マイク](#) (23 ページ)

## ワイヤレスマイクの充電

#### 始める前に

ワイヤレスマイクの充電クレードルを取り付けます。詳細については、[ワイヤレスマイクの充電クレードルの取り付け](#) (11 ページ) を参照してください。

#### 手順

---

**ステップ1** 充電クレードルにマイクを置きます。

**ステップ2** クレードルの LED が白ではない場合は、マイクを取り外し、再度置きます。

---

#### 関連トピック

[ワイヤレス拡張マイク](#) (23 ページ)

## デジチェーンモード

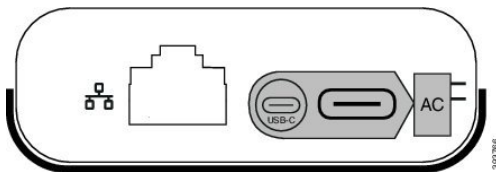
スマートアダプタと、部屋の中の音声カバレッジエリアを拡大するためにデジチェーンキットに用意されているUSB-Cケーブルを使用して、2つの会議電話を接続することができます。

デジチェーンモードでは、どちらのユニットも、電源アダプタに接続されているスマートアダプタから電力を供給されます。ユニットごとに1つだけ外部マイクを使用できます。有線マイクとユニットのペア、またはワイヤレスマイクとユニットのペアのいずれかを使用できますが、これらのマイクを組み合わせることはできません。いずれかのユニットに有線マイクを接続した場合、同じユニットに接続しているワイヤレスマイクのペアを解除します。アクティブな通話があるたびに、両方のユニットの端末画面上のLEDとメニューオプションが同期されます。

### デジチェーンモードでの会議電話の設置

デジチェーンキットにはスマートアダプタ、短いLANケーブル、2本の長くてより太いUSB-Cケーブル、および短くて薄いUSB-Cケーブルが含まれています。デジチェーンモードでは、会議電話をコンセントからの外部電源に接続する必要があります。スマートアダプタを使用して電話機を接続する必要があります。長いUSB-Cケーブルは電話機に到達して、短いものは電源アダプタに到達します。電源アダプタとLANポートをスマートアダプタに接続するときは、次の図を参照してください。

図 7: スマートアダプタの電源ポートとLANポート



ユニットごとに1つのみマイクを使用できます。



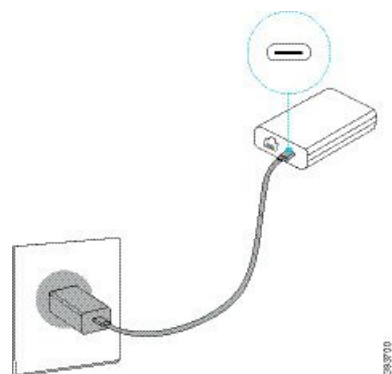
(注) 電話機と一緒に2つの有線マイクまたは2つのワイヤレスマイクを使用できますが、2種類のマイクを組み合わせることはできません。

電源アダプタ用のUSB-Cケーブルは、電話機に接続されているUSB-Cケーブルよりも薄型です。

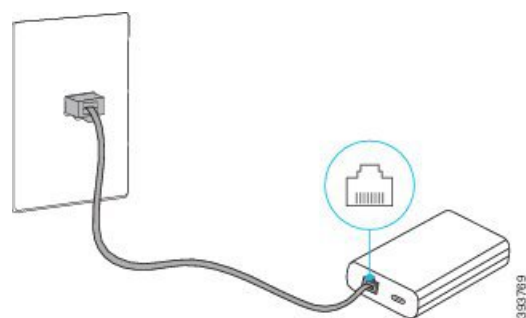
#### 手順

**ステップ 1** 電源アダプタを電源コンセントに差し込みます。

**ステップ 2** 電源アダプタからスマートアダプタには、短くて薄型のUSB-Cケーブルを接続します。

図 8: 電源コンセントに接続されたスマートアダプタの **USB** ポート

**ステップ 3** 必須: イーサネットケーブルをスマートアダプタと LAN ポートに接続します。

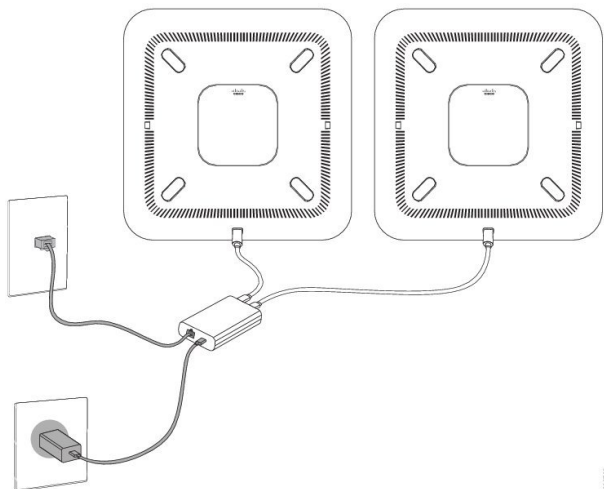
図 9: 壁面のコンセントの **LAN** ポートに接続されたスマートアダプタの **LAN** ポート

**ステップ 4** より長くて太い USB-C ケーブルを使用して、1 台目の電話機をスマートアダプタに接続します。

**ステップ 5** USB-C ケーブルを使用して、2 台目の電話機をスマートアダプタに接続します。

次の図に、デジチェーンモードで会議電話を設置する様子を示します。

図 10: デイジーチェーンモードでの会議電話機の設置



## 既存の電話機を新しい電話機に置き換え

電話機モデルを変更することができます。この変更は、次のようにいくつかの理由で必要になる場合があります。

- Cisco Unified Communications Manager (ユニファイド CM) を電話機モデルをサポートしていないソフトウェアバージョンに更新しました。
- 現在のモデルからの別の電話機モデルが必要です。
- 電話機を修理または交換する必要があります。

**制限 (Limitation)** : 古い電話機が新しい電話よりも多くの回線または回線ボタンを使用している場合は、新しい電話機に追加回線や回線ボタンは設定されません。

設定が完了すると、電話機が再起動します。

### 始める前に

管理者は、電話機の移行をCisco Unified Communications Managerに設定する必要があります。ネットワークに接続されていない、または未設定の新しい電話が必要です。

### 手順

- ステップ 1** 古い電話機の電源をオフにします。
- ステップ 2** 新しい電話機の電源を入れます。
- ステップ 3** プロンプトが表示されたら、アクティベーションコードを入力します。

- ステップ4 [既存の電話を置き換える (Replace an existing phone)] を選択します。
- ステップ5 古い電話機のプライマリ内線番号を入力します。
- ステップ6 古い電話機に暗証番号が割り当てられている場合は、暗証番号を入力します。
- ステップ7 [送信] を押します。
- ステップ8 デバイスが複数ある場合は、置き換えるデバイスを選択して [続行する (Continue)] を押します。

## セルフケア ポータル

コンピュータからアクセス可能なセルフ ケア ポータル Web サイトで、いくつかの電話機設定をカスタマイズできます。セルフケア ポータルは、組織の Cisco Unified Communications Manager の一部です。

セルフケア ポータルにアクセスするための URL、およびユーザー ID とパスワードが管理者から通知されます。

セルフ ケア ポータルでは、電話機の機能、回線設定、電話サービスを制御できます。

- 電話機の機能には短縮ダイヤル、サイレント機能、個人用アドレス帳などがあります。
- 回線の設定は、電話機の特定の電話回線（電話番号）に影響します。回線設定には、不在転送、ビジュアルおよびオーディオ メッセージ インジケータ、呼出音のパターン、その他の回線固有の設定が含まれます。
- 電話機サービスには、特別な電話機の機能、ネットワーク データ、Web ベースの情報（株式相場、映画情報など）が含まれます。電話サービスを電話機で利用するには、その前にセルフ ケア ポータルを使って電話サービスを登録する必要があります。

セルフ ケア ポータルを使用して設定できるいくつかの機能を次の表に示します。詳細については、ご使用のコール制御システムに関するセルフ ケア ポータルのマニュアルを参照してください。

表 6: 自己管理ポータルで利用できる機能

機能	説明
コール転送	電話で自動転送が有効になっているときに着信を受ける番号を使用します。セルフ ケア ポータルを使用すると、より複雑なコール転送機能（回線がビジー状態の場合の動作など）をセットアップすることができます。



機能	説明
追加の電話機	<p>固定電話と同じ電話番号で電話を発信/受信するために使用する、携帯電話などの追加の電話を指定します。また、特定の番号からのコールが携帯電話に送信されるのを制限または許可するために、連絡先のブロックや選好を定義することもできます。さらに、追加の電話機をセットアップするときには、次の機能も設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• シングルナンバーリーチ：自分のデスクフォンに着信したとき、追加の電話機の着信音を鳴らすかどうかを指定します。</li> <li>• モバイルコール：追加の電話機が携帯電話である場合、モバイルコールからデスクフォンに、またはデスクフォンのコールから携帯電話に転送されるようセットアップできます。</li> </ul>
短縮ダイヤル	短縮ダイヤル番号に電話番号を割り当てると、その相手にすばやく電話をかけることができます。

#### 関連トピック

[短縮ダイヤル](#) (36 ページ)

[コールの転送](#) (43 ページ)

## 短縮ダイヤル番号

電話機で番号をダイヤルする際には、一連の数字（ディジット）を入力します。短縮ダイヤル番号を設定する際には、コールに必要なすべてのディジットを短縮ダイヤル番号に含める必要があります。たとえば、外線に接続するために9をダイヤルする必要がある場合は、9番を押してからダイヤルしたい番号を押してください。

また、ダイヤルする他のディジットを番号に追加することもできます。追加のディジットの例として、会議アクセスコード、内線、ボイスメールパスワード、承認コード、課金コードなどがあります。

ダイヤル文字列に含めることができる文字はつぎのとおりです。

- 0～9
- シャープ (#)
- アスタリスク (\*)
- コンマ (,) : 一時停止記号であり、ダイヤリング中に2秒の遅延を挿入します。複数のカンマを連続させることができます。たとえば、2つのカンマ (,,) は、4秒間のポーズを表します。

ダイヤル文字列の規則は次のとおりです。

- ダイヤル文字列の各部分を分離するには、カンマを使用します。
- 短縮ダイヤル文字列では、常に課金コードの前に承認コードを含める必要があります。

- 文字列内の承認コードと課金情報コードの間に1つのコンマが必要です。
- 承認コードおよび追加のディジットを含む短縮ダイヤルには、短縮ダイヤルラベルが必要です。

短縮ダイヤルを設定する前に、ディジットシーケンスを手動で少なくとも1回ダイヤルしてみ、内容が正しいことを確認してください。

短縮ダイヤルの承認コード、課金コード、および追加のディジットは、電話機の通話履歴に保存されません。短縮ダイヤルを使って宛先に接続した後に[リダイヤル (Redial)]を押すと、電話機に必要な承認コード、課金情報コード、または追加の数字を手動で入力するよう求められます。

### 例

承認コードと課金コードが必要な状況で、特定の内線の相手に電話するために短縮ダイヤル番号をセットアップするには、次の要件を考慮してください。

- 外線の **9** をダイヤルする必要があります。
- 通話先の番号は **5556543** です。
- 承認コード **1234** を入力する必要があります。
- 課金コード **9876** を入力する必要があります。
- 4 秒ほど待機します。
- 電話がつながった後、内線 **56789#** をダイヤルする必要があります。

このシナリオでは、短縮ダイヤル番号は**95556543,1234,9876,,56789#** となります。

### 関連トピック

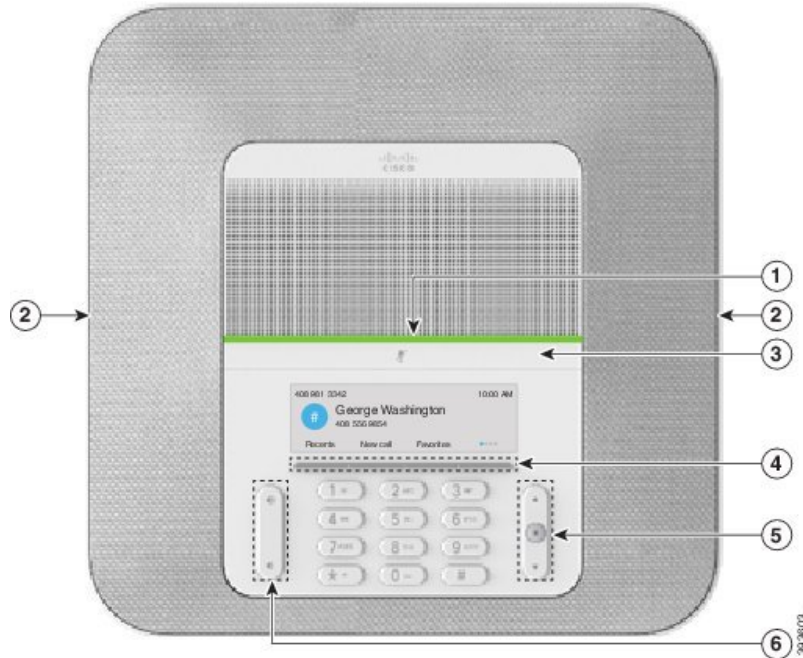
[課金コードまたは承認コードを必要とするコール](#)

[電話機のキーパッド文字 \(21 ページ\)](#)

## Cisco IP 会議用電話 8832 のボタンとハードウェア




次の図は Cisco IP 会議用電話 8832 です。


図 11: Cisco IP 会議用電話 8832 の各ボタンと機能



次の表に、Cisco IP 会議用電話 8832 の各ボタンを示します。

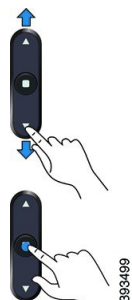
表 7: Cisco IP 会議用電話 8832 の各ボタン

1	LED バー	<p>コール状態を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 緑、点灯：アクティブコール</li> <li>• 緑（点滅）：着信コール</li> <li>• 緑（速い点滅）：保留中のコール</li> <li>• 赤、点灯：ミュート中のコール</li> </ul>
2	拡張マイクポート	有線拡張マイクケーブルはポートに差し込みます。
3	ミュートバー	[ミュート]：マイクロフォンのオン/オフを切り替えます。マイク音声ミュートになっているとき、LED バーは赤色に点灯します。
4	ソフトキーボタン	[ミュート  ]：機能とサービスにアクセスします。
5	ナビゲーションバーと [選択 (Select)] ボタン	 <p>[ミュート ]：メニューをスクロールして項目を強調表示し、強調表示された項目を選択できます。</p>

6	[音量 (Volume) ] ボタン:	 <p>[ミュート] : スピーカーフォンの音量 (オフック) と着信音の音量 (オンック) を調整します。</p> <p>音量を変更するとLEDバーが白く点灯し、音量の変化を表示します。</p>
---	---------------------	---

## 会議電話のメニュー操作

ナビゲーションバーを使用してメニューをスクロールできます。ナビゲーションバーの内側の [選択 (Select) ] ボタンを使用して、メニュー項目を選択します。



メニュー項目にインデックス番号がある場合は、キーパッドでインデックス番号を入力して項目を選択できます。

## 会議電話のソフトキー

ソフトキーを使用して電話機の機能を操作できます。ソフトキーは画面の下にあり、ソフトキーの上の画面に表示されている機能にアクセスできます。ソフトキーは、その時点で行っている操作に応じて変化します。




●● および ●● ソフトキーは、さらに多くのソフトキー機能が利用できることを意味することを示します。

## 電話のアイコンを使用

電話画面にたくさんのアイコンが表示されます。このセクションでは、共通アイコンの画像が提供されます。

アイコンは画面に応じて、カラーまたはグレースケールで表示されます。






## 通話履歴

アイコン	説明
	着信コール
	発信コール
	不在着信

## Wi-Fi ネットワークアイコン

電話機が Wi-fi ネットワークに接続されている場合は、これらのアイコンが表示されます。

表 8: ネットワークアイコン

アイコン	説明
   	Wi-Fi 接続中で、バーの数は信号強度を示しています。
	Wi-Fi 接続がありません。

## 電話機のキーパッド文字

電話機のキーパッドでは、文字、数字、および特殊文字を入力できます。2~9キーを押して、文字と数字を取得します。特殊文字には、1、ゼロ (0)、アスタリスク (\*)、およびシャープ (#) キーを使用します。次の表は、英語ロケール用の各キーの特殊文字を示しています。他のロケールにも独自の文字があります。

表 9: キーパッドの特殊文字

キーパッドキー	特殊文字を使用する
1	/ . @ : ; = ? _ & %
0	(space) , ! ^ ' "
アスタリスク (*)	+ * ~ ` < >
シャープ (#)	# \$ £ □ \ ( ) { } [ ]

## 電話画面のクリーニング

### 手順

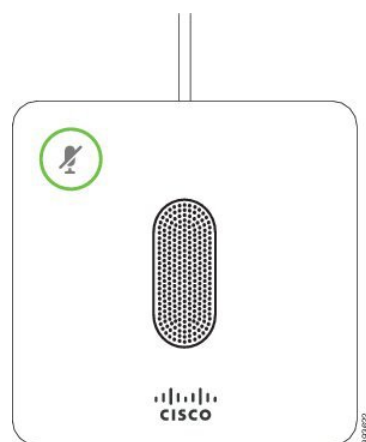
電話機の画面が汚れている場合は、柔らかく乾いた布で拭いてください。


**注意** 電話機に対して液体や粉末を使用しないでください。電話機の部品に入り込み、故障の原因になる可能性があります。

## 有線拡張マイク

Cisco IP 会議用電話 8832 は、オプションキットで用意されている有線拡張マイク 2 個をサポートします。大きな会議室または混雑している会議室で、拡張マイクを使用します。最適な効果を得るために、携帯電話から 3 フィート (0.91 メートル) から 7 フィート (2.1 メートル) の間にマイクを置くことをお勧めします。

図 12: 有線拡張マイク



通話時は、[ミュート (Mute)]  ボタンの周りの拡張マイク LED が緑色に点灯します。

マイク音声ミュートになっているとき、LED バーは赤色です。[ミュート (Mute)] ボタンを押すと、電話機と拡張マイクはミュートされます。

### 関連トピック

[有線拡張マイクの取り付け](#) (9 ページ)

## ワイヤレス拡張マイク

Cisco IP 会議用電話 8832 は、オプション キットで充電クレードルと一緒に用意されている 2 つの拡張ワイヤレスマイクをサポートしています。ワイヤレスマイクを充電クレードルの上に配置して充電すると、クレードルの LED が白く点灯します。

図 13: ワイヤレスマイクロフォン

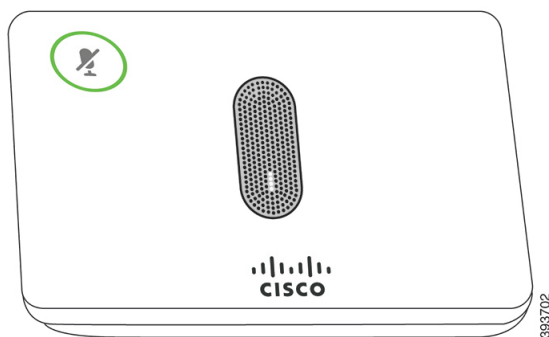
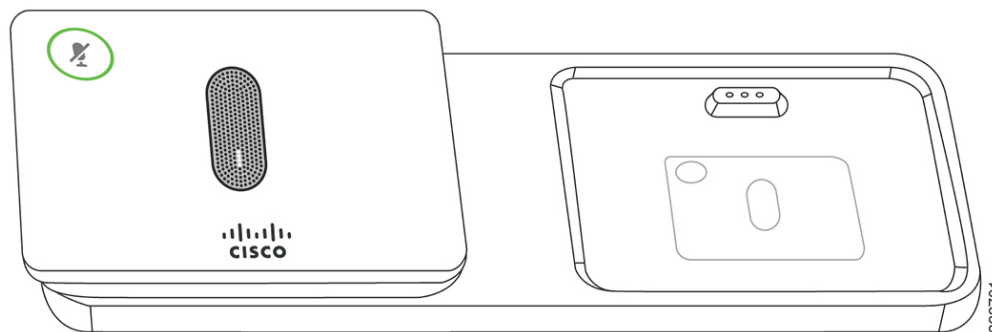


図 14: 充電クレードルに載せたワイヤレスマイク



会議電話での通話時は、[ミュート (Mute)] ボタンの周りの拡張マイク LED が緑色に点灯します。

マイクをミュートにすると、LED が赤く点灯します。[ミュート (Mute)] ボタンを押すと、電話機と拡張マイクはミュートされます。

電話機がワイヤレスマイク (たとえばワイヤレスマイク 1) とペアリングされていて、充電器にワイヤレスマイクを接続している場合、[詳細表示 (Show detail)] ソフトキーを押すとマイクの充電レベルが表示されます。

電話機がワイヤレスマイクとペアリングされている時に有線マイクを接続すると、ワイヤレスマイクのペアリングが解除され、電話機は有線マイクとペアリングされます。有線マイクが接続されたことを示す通知が電話機の画面上に表示されます。

### 関連トピック

[ワイヤレス拡張マイクの取り付け](#) (10 ページ)

[ワイヤレスマイクのペアリング](#) (10 ページ)

[ワイヤレスマイクのペアリングの解除](#) (11 ページ)

[ワイヤレスマイクの充電クレードルの取り付け](#) (11 ページ)

[ワイヤレスマイクの充電](#) (12 ページ)

## 電話ファームウェアとアップグレード

電話機には、あらかじめファームウェアがインストールされています。これは、通話制御システムに固有のファームウェアです。

管理者が電話機のファームウェアをアップグレードする場合があります。電話機をご使用中の場合でも、このアップグレードがバックグラウンドで行われます。

### 電話機アップグレードの延期

新しいファームウェアが利用可能になると、電話機に **[アップグレード準備完了 (Ready to upgrade)]** ウィンドウが表示され、タイマーが 15 秒のカウントダウンを開始します。何も操作しなければ、アップグレードが続行されます。

ファームウェアアップグレードは、1 時間延期できます。延期は 11 回まで可能です。また、アップグレードは、コールを発信または着信している際にも延期されます。

#### 手順

---


電話機のアップグレードを延期するには、**[遅延 (Delay)]** を押します。

---

### 電話機ファームウェアアップグレードの進捗状況の確認

電話ファームウェアのアップグレード中に、アップグレードの進行状況を表示できます。

#### 手順

- 
- ステップ 1 **[アプリケーション (Applications)]**  を押します。
  - ステップ 2 **[設定 (Settings)]** を押します。
  - ステップ 3 **[電話の情報 (Phone information)]** > **[詳細の表示 (Show detail)]** の順に選択します。
  - ステップ 4 **[システム情報 (System information)]** を選択して、**[詳細の表示 (Show details)]** を押します。
  - ステップ 5 **[終了 (Exit)]** を押します。
-



## 省電力

管理者は、次のオプションを使用してユーザの電話機の画面で使用する電力量を減らすことができます。

- 省電力：電話機が一定時間非アクティブ状態になるとバックライトや画面がオフになります。
- Power Save Plus：勤務スケジュールに基づいて設定された時間で、電話スクリーンのオン/オフが切り替わります。勤務時間や勤務日に変更になった場合は、電話機を再設定するよう管理者に依頼してください。

たとえば、管理者は電話スクリーンをオフする 10 分前にアラートを発行するように設定できます。選択ボタンが点灯し、電話機がまもなくオフになることを示すメッセージが表示されます。これらのメッセージは、次の間隔で通知されます。

たとえば、管理者は電話スクリーンをオフする 10 分前にアラートを発行するように設定できます。電話機がすぐにオフになり、次の間隔で通知を受信したことを示すメッセージが表示されます。

- 電源オフの 10 分前に 4 回の呼出音
- 電源オフの 7 分前に 4 回の呼出音
- 電源オフの 4 分前に 4 回の呼出音
- 電源オフの 30 秒前に 15 回の呼出音

電話機がアクティブな場合は、電源シャットダウンの通知は電話機が非アクティブになってから設定時間が過ぎた後に実行されます。

## 電話機の電源を入れる

電話機の省エネがオフになっているときには、電話画面は空白で、[選択 (Select)] ボタンが点灯します。

### 手順

---

[選択 (Select)] を押して電話機を再度オンにします。

---

## 追加のヘルプと情報

電話機で利用可能な機能について不明な点がございましたら、管理者にお問い合わせください。

Ciscoウェブサイト (<https://www.cisco.com>) には電話機と通話制御システムに関する詳細が掲載されています。

## アクセシビリティ機能

Cisco IP 会議用電話 8832 には、視覚障がい、聴覚障がい、および運動障がいを持つユーザーのためのアクセシビリティ機能があります。これらの機能の多くが標準装備ですので、障がいを持つユーザーは特別な設定をせずにそれらの機能にアクセスできます。

このドキュメント内の「電話機のサポートページ」という用語は、ユーザーが特定の機能をセットアップするためにアクセスする Web ページを指します。Cisco Unified Communications Manager (リリース 10.0 以降) では、これらのページは、セルフケアポータルになっています。Cisco Unified Communications Manager (リリース 9.1 以前) では、これらのページはユーザーオプションの Web ページにあります。

詳細については、次の場所にある電話機のユーザーガイドを参照してください。

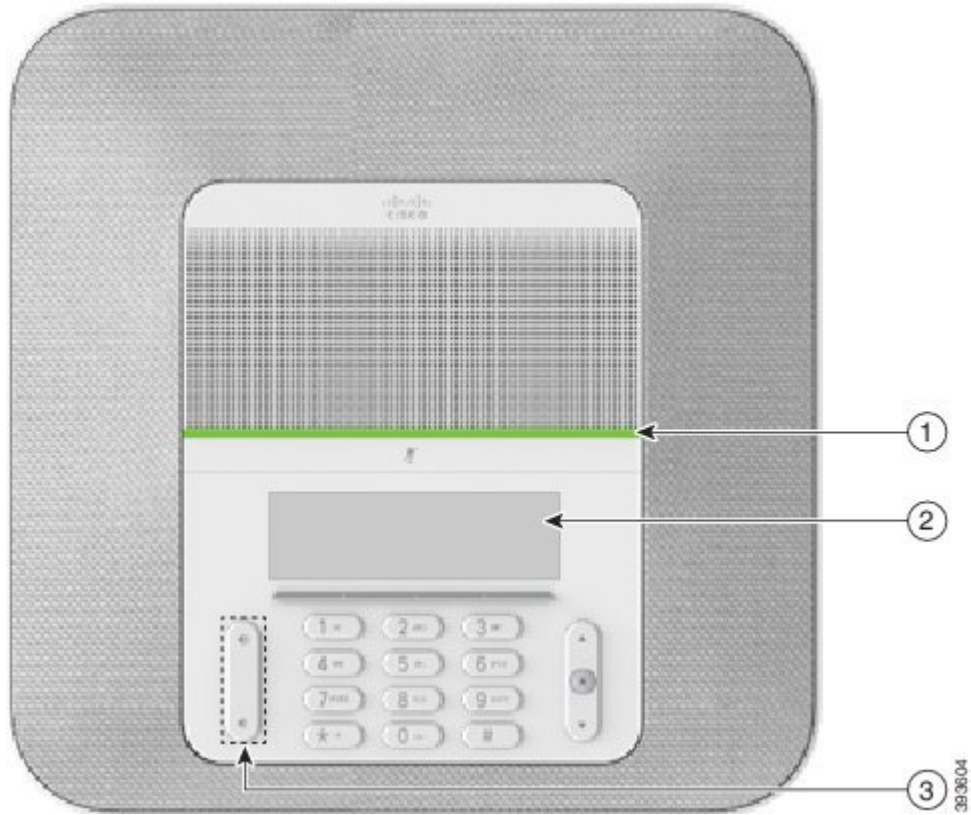
<http://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-8800-series/products-user-guide-list.html>

シスコでは、組織のニーズに合った、アクセシビリティ機能搭載の製品および技術の設計や提供に取り組んでいます。シスコおよびシスコによるアクセシビリティへの取り組みに関する詳細については、次の URL を参照してください。 <https://www.cisco.com/go/accessibility>

### の聴覚障害者向けのアクセシビリティ機能：

会議電話はセットアップがほとんどまたはまったく不要な標準アクセシビリティ機能を備えています。

図 15: 聴覚障がい者向けのアクセシビリティ機能



次の表に、Cisco IP 会議用電話 8832 の聴覚障害者向けのアクセシビリティ機能を示します。

表 10: 聴覚障がい者向けアクセシビリティ機能

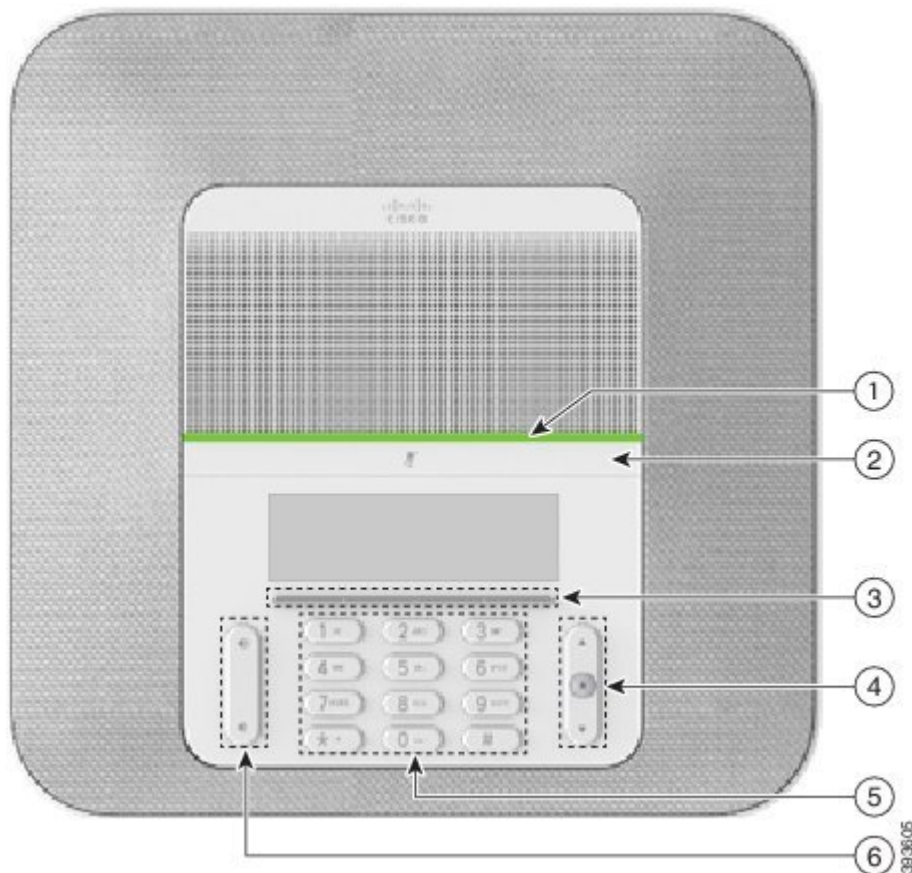
項目	アクセシビリティ機能	説明
1	LED バー	<p>電話画面に現在の状態が表示され、LED バーは次の情報を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 緑、点灯：アクティブコール</li> <li>• 緑（点滅）：着信コール</li> <li>• 緑（速い点滅）：保留中のコール</li> <li>• 赤、点灯：ミュート中のコール</li> </ul>

項目	アクセシビリティ機能	説明
2	電話の状態およびメッセージ待機インジケータのビジュアル通知	<p>電話画面に現在の状態が表示されます。</p> <p>メッセージがあると、電話画面にメッセージが表示されます。また、電話には音声でのメッセージ待機インジケータも搭載されています。</p> <p>可聴ボイス メッセージ インジケータを変更するには、セルフケアポータルにサインインし、メッセージインジケータの設定にアクセスします。ユーザは、設定のオンとオフを変更できます。管理者も設定を変更できます。</p>
3	調整可能な呼出音、音の間隔、および音量	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [設定 (Settings)] &gt; [設定 (Preferences)] に順に選択し、呼出音を変更します。</li> <li>• 電話機の呼出音の音量レベルを調節します。コール中でない場合は、[音量 (Volume)] を押して、音量を調節します。</li> </ul> <p>音量を調整すると、LED バーが白色で点灯してボリュームの増減を示します。</p> <p>管理者も設定を変更できます。</p>

## 視覚障がい者向けアクセシビリティ機能

電話機には、少しの設定または設定不要で使用できる標準のアクセシビリティ機能が搭載されています。

図 16: 視覚障がい者向けアクセシビリティ機能



次の表に、Cisco IP 会議用電話 8832 の視覚障害者向けブラインドアクセシビリティ機能を示します。

表 11: 視覚障がい者向けアクセシビリティ機能

項目	アクセシビリティ機能	説明
1	<p>LED バーによる着信コールの高コントラストの可視および可聴アラート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• LED バーは、[ミュート (Mute) ] ボタンと画面の上にあります。</li> </ul>	<p>[ミュート (Mute) ] ボタンを使用してマイクロフォンのオン/オフを切り替えます。マイク音声がミュートになっているとき、LED バーは赤色に点灯します。ミュートをオンにすると、電話機でピープ音が 1 回鳴り、ミュートをオフにすると、電話機でピープ音が 2 回鳴ります。</p>

項目	アクセシビリティ機能	説明
2	[ミュート (Mute) ] ボタン <ul style="list-style-type: none"> <li>このボタンはLEDバーと画面の間にあります。</li> </ul>	ユーザに着信を知らせます。着信中はLEDが点滅します。 色による電話のステータス表示： <ul style="list-style-type: none"> <li>緑、点灯：アクティブコール</li> <li>緑（点滅）：着信コール</li> <li>緑（速い点滅）：保留中のコール</li> <li>赤、点灯：ミュート中のコール</li> </ul>
3	ソフトキー <ul style="list-style-type: none"> <li>LCDのすぐ下にあるボタンです。</li> </ul>	特別な機能にアクセスできます。LCDに機能が表示されます。
4	ナビゲーションクラスタ（ナビゲーションバーと[選択 (Select) ]ボタンを含む） <ul style="list-style-type: none"> <li>ナビゲーションクラスタはキーパッドの右にあります。</li> </ul>	ナビゲーションバーを使用して電話機のLCDで上下に移動できます。 [選択 (Select) ]ボタンはナビゲーションバーの中央にあります。
5	標準の12キーレイアウト	既存または使い慣れているキーポジションを使用できます。5番キーには突起が付いています。
6	音量キー <ul style="list-style-type: none"> <li>このキーは、キーパッドの左側にあります。</li> </ul>	呼出音や音声の音量を調節できます。 音量を上げる場合はロッカーキーの上側を押します。音量を下げる場合はロッカーキーの下側を押します。 音量を調整すると、LEDバーが白色で点灯してボリュームの増減を示します。

## の運動障がい者障害向けアクセシビリティ機能

会議電話はセットアップがほとんどまたはまったく不要な標準アクセシビリティ機能を備えています。

図 17: 運動障がい者向けアクセシビリティ機能



次の表に、Cisco IP 会議用電話 8832 の運動障害者向けのアクセシビリティ機能を示します。

表 12: 運動障がい者向けアクセシビリティ機能

項目	アクセシビリティ機能	説明
1	LED バー	<p>電話機の状態は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 緑、点灯：アクティブコール</li> <li>• 緑（点滅）：着信コール</li> <li>• 緑（速い点滅）：保留中のコール</li> <li>• 赤、点灯：ミュート中のコール</li> </ul>
2	触覚認識によるボタンおよび機能（5 番キーにある突起を含む）	電話機のキーの位置が簡単にわかります。たとえば、5 番キーには突起があるため、これによって他のキーの位置がわかります。

## サードパーティのアクセシビリティアプリケーション

シスコは、パートナーと緊密に連携して、シスコ製品とソリューションのアクセシビリティとユーザービリティを補完するソリューションを提供しています。サードパーティ製のアプリケーションとして、Cisco IP 電話でのリアルタイム字幕生成、聴覚障がい者向けテキスト電話（TDD/TTY）、リアルタイムテキスト（RTT）、Hearing/Voice Carry Over（HCO/VCO）、音声による発信者番号通知、通話音量を上げるためのハンドセット用インラインアンプ、「話中ライト」、Cisco IP 電話によるオーディオ/ビジュアル緊急通知（障がいを持つユーザーのサポート用）などがあります。

サードパーティ製アプリケーションの詳細については、管理者にお問い合わせください。

## トラブルシューティング

次のシナリオに関連した問題が発生する可能性があります:

- 電話機が通話制御システムと通信できない。
- 通話制御システムで通信または内部の問題が発生している。
- 電話機内部で問題が発生している。

問題が発生した場合は、管理者の支援のもとで問題の根本原因をトラブルシューティングすることができます。

## 電話機に関する情報の検索

管理者から、電話機についての情報を提供するように求められることがあります。この情報は、トラブルシューティングの目的で電話機を一意に識別します。

### 手順

---

**ステップ1** [システム情報 (System information)] を選択します。

**ステップ2** [終了 (Exit)] を押します。

---

## 通話品質の問題を報告する

パフォーマンスに関する問題のトラブルシューティングに役立てるために、管理者により一時的に、電話機に品質レポートツール（QRT）が設定されることがあります。設定に応じて、QRT は次の用途に使用します。

- 現在のコールの音声に関する問題をすぐにレポートします。
- カテゴリのリストから一般的な問題を選び、理由コードを選択します。




### 手順

- ステップ 1 [品質のレポート (Report quality)] を押します。
- ステップ 2 スクロールして発生した問題に最も近い項目を選択します。
- ステップ 3 選択 ソフトキーを押すと、システム管理者に情報が送信されます。

## 電話機のすべての問題を報告する

Cisco Collaboration Problem Report Tool (PRT) を使用すると、通話記録を収集および送信し、管理者に問題を報告できます。PRT アップロードが失敗したというメッセージが表示された場合、問題レポートが電話機に保存されるため、管理者に連絡する必要があります。

### 手順

- ステップ 1 [アプリケーション (Applications)]  を押します。
- ステップ 2 [設定 (Settings)] > [システム情報 (System information)] > [問題の報告 (Report problem)] を選択します。
- ステップ 3 [問題の発生日付 (Date of problem)] および [問題の発生時刻 (Time of problem)] フィールドに、問題が発生した日時を入力します。
- ステップ 4 [問題の説明 (Problem description)] を選択します。
- ステップ 5 表示されるリストから説明を選択して、[送信 (Submit)] を押します。

## 電話機の接続の切断

電話機が電話のネットワークと接続していない場合があります。この接続が失われると、電話機にメッセージが表示されます。

アクティブコール中に接続が失われた場合、その通話は継続します。ただし、一部の電話機の機能は通話制御システムからの情報を必要とするため、通常の全ての機能にアクセスできるわけではありません。たとえば、想定どおりにソフトキーが機能しないことがあります。

電話機が通話制御システムに再接続すると、電話機を再び通常どおりに使用できるようになります。

## シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。

シスコのソフトウェアに適用される保証を含む正式な保証書は、Cisco.com の次の URL で提供されています。<https://www.cisco.com/go/hwwarranty>





## 第 2 章

### 通話

---

- コールの発信 (35 ページ)
- コールへの応答 (38 ページ)
- コールのミュート (41 ページ)
- コールの保留 (41 ページ)
- コールの転送 (43 ページ)
- 通話の転送 (44 ページ)
- 電話会議とミーティング (45 ページ)
- ボイスメール (46 ページ)

### コールの発信

電話機は、通常の電話機と同じように動作します。より簡単な操作で通話を発信できます。

### 電話をかける

お使いの電話機を他の電話機と同じように使用して電話します。

#### 手順

---

電話番号を入力して、[通話 (Call)] を押します。

---

### 電話のアドレスを使用したコールの発信

電話番号だけではなく、電話のアドレスを使用してコールを発信することもできます。

このアドレスは、`username1@example.com` のように電子メールアドレスに似ているか、`username2@209.165.200.224` のように数字が含まれている場合もあります。

### 手順

---

**ステップ1** [発信 (New Call) ]を押します。

**ステップ2** [ABC]を押すと、キーパッドを使用してテキストを入力できます。

**ステップ3** キーパッドのいずれかの数字を押して使用可能なオプションを表示し、再度その数字を押してオプションから選択します。

たとえば、[1]を3回押すと @ 記号を入力できます。

**ステップ4** [通話]を押します。

---

## 番号のリダイヤル

最後にダイヤルした電話番号をもう一度発信できます。

### 手順

---

[リダイヤル (Redial) ]を押します。

---

## 短縮ダイヤル

頻繁に通話する相手の番号をすばやくダイヤルするために、コードを割り当てることができます。短縮ダイヤル機能を電話機で使用する前に、セルフケアポータルで短縮ダイヤルを設定してください。短縮ダイヤルコードを使用すると、コードを入力して電話番号をダイヤルできます（「短縮ダイヤル」と呼ぶ場合もあります）。

- 短縮ダイヤルボタン：短縮ダイヤル用に設定された1つ以上の回線ボタンから、すばやく電話番号をダイヤルできます。
- 短縮ダイヤルコード：コード（短縮ダイヤルとも呼ぶ）から電話番号をダイヤルできます。

### 関連トピック

[セルフケアポータル](#)（16 ページ）

[短縮ダイヤル番号](#)（17 ページ）

## 会議電話からの短縮ダイヤル発信

### 始める前に

セルフケアポータルで短縮ダイヤルコードを設定します。

### 手順

---

- ステップ1 ナビゲーションバーを押すか、[お気に入り (Favorites)] を押します。
  - ステップ2 短縮ダイヤルエントリを選択して、[コール (Call)] を押します。
- 

## 短縮ダイヤルコードを使用して発信

### 始める前に

ユーザオプションWebページで、コードを設定します。

### 手順

---

- ステップ1 [短縮ダイヤル (Speed Dial)] コードを入力し、[短縮ダイヤル (Speed Dial)] を押します。
  - ステップ2 短縮ダイヤルコードを入力し、[短縮ダイヤル (Abbr dial)] を押します。
- 

## 連絡先が対応可能な場合の通知

コールを発信しても相手の回線がビジー状態の場合、または相手が応答しない場合、相手が通話可能になったときに特殊な呼出音とメッセージで通知を受け取ることができます。

### 手順

---

- ステップ1 話中音または呼出音が聞こえているときに、[コールバック (Callback)] を押します。
  - ステップ2 確認画面を終了するには、[終了 (Exit)] を押します。
  - ステップ3 相手が通話可能になったことを示す呼出音が聞こえてメッセージが表示されたら、[コール (Call)] を押して再びコールを発信します。
- 

## 国際番号のダイヤル

電話番号の前にプラス記号 (+) を付けると、国際電話をダイヤルできます。

### 手順

---

- ステップ1 アスタリスク (\*) を1秒間以上押したままにします。  
電話番号の先頭にプラス (+) 記号が表示されます。

ステップ2 電話番号を入力します。

ステップ3 [通話 (Call)] を押す、または最後にキーを押した後に10秒待つ事で自動的に通話を挿入します。

## 安全なコール

社外の人物による不正な改ざんからコールを保護するために、管理者は措置を講じることができます。通話中にロックアイコンが表示されている場合、通話は安全です。電話機の設定によっては、発信する前またはハンドセットからセキュリティトーンが流れる前にサインオンする必要があります。

## コールへの応答

Cisco 電話は、通常の電話機と同じように動作します。より簡単な操作で通話に応答できます。

## コールに応答する

手順

[応答 (Answer)] を押します。

## 会議電話でコール ウェイティングへ応答する

アクティブコール中に別のコールがあると、ビープ音が1回鳴り、会議電話の画面にメッセージが表示されます。

手順

[応答 (Answer)] を押します。

## コールの拒否

呼び出し中の着信コールをボイスメールシステム（設定されている場合）に送信できます。設定されていないと、コールは拒否され、発信者にはビジー トーンが再生されます。

### 手順

---

[拒否 (Decline)] を押します。

---

## 応答不可をオンにする

電話に出たくない場合は、サイレント (DND) を使用して電話機をサイレントにし、着信コール通知を無視します。

DND をオンにすると、着信コールはボイスメールなどの別の番号 (設定されている場合) に転送されます。

### 手順

---

**ステップ 1** [応答不可 (Do not disturb)] を押すと、DND がオンになります。

**ステップ 2** DND をオフにするには、[DND をオフにする (Turn off DND)] を押します。

---

## ハントグループ内のコールへの応答

ハントグループにより、多数の着信通話がある組織は通話の負荷を分配できます。管理者はいくつかの電話番号を含むハントグループを設定します。ハントグループに対して管理者が指定したハントシーケンスに基づいて、呼出音が鳴ります。ハントグループのメンバーは、コールを受けるときにハントグループにサインインします。電話機でコールの着信音を鳴らさないようにするには、グループからサインアウトします。

ハントグループの設定方法に応じて、次の情報がコールアラートに表示される場合があります。

- 通話を受信する回線。
- 着信用の電話番号。
- ハントグループ名またはパイロット番号。

### 始める前に

ハントグループコールを受信するには、ハントグループにサインインする必要があります。

## 手順

---

手元の電話機でハントグループの通話が鳴ったら、応答します。

---

## ハントグループへのログインとハントグループからのログアウト

ハントグループからログアウトして、ハントグループからのコールの着信を停止します。直接かかってくるコールについては、引き続き着信できます。

## ハントグループでの通話キューの表示

ハントグループキューのステータスを確認するには、キュー統計情報を使用できます。キューステータス表示には、次の情報が含まれます。

- ハントグループが使用する電話番号
- 各ハントグループのキューに入っている発信者数
- 最長待機時間

## 手順

---

- ステップ1** [キューのステータス (Queue Status)] を押します。
- ステップ2** 統計情報の表示を更新するには、[更新 (Update)] を押します。
- ステップ3** [終了 (Exit)] を押します。
- 

## 不審なコールのトレース

迷惑電話や嫌がらせ電話を受信した場合、迷惑呼ID (MCID) を使用して管理者に通知することができます。コールについての情報を含むサイレント通知メッセージが電話機から管理者に送られます。

## 手順

---

[発信者のレポート (Report caller)] を押します。

---



## コールのミュート

通話中に音声をミュートすると、自分の声が相手に聞こえず、相手の声だけを聞くことができます。

通話音声ミュートになっているとき、LEDバーは赤色に点灯します。

### 手順

**ステップ1** 電話機の [ミュート (Mute)]  ボタンまたは拡張マイクの [ミュート (Mute)]  ボタンを押します。

拡張マイクのミュート (Mute) を押すと、電話とすべてのマイク音がミュートになります。

**ステップ2** 再度 [ミュート (Mute)] を押すと、ミュートはオフになります。

## コールの保留

### コールを保留にする

アクティブコールを保留にして、いつでも再開できます。

### 手順

**ステップ1** [保留 (Hold)] ボタンを押す。

**ステップ2** 保留中の通話を再開するには、[再開 (Resume)] を押します。

### 長時間にわたって保留されているコールに応答する

保留状態が長くなると、次のようなキューによる通知が表示されます。

- 1回の呼出音 (一定間隔で繰り返す)
- オレンジ色に点滅する回線ボタン
- ハンドセット上で点滅するメッセージインジケータ
- 点滅するLEDバー
- 電話スクリーン上のビジュアル通知

### 手順

オレンジ色に点滅している回線ボタンまたは [応答 (Answer)] を押して、保留中のコールを復帰します。

## アクティブコールと保留コールの切り替え

アクティブコールと保留中の通話の間を簡単に切り替える事ができます。

### 手順

[切替 (Swap)] を押して、保留コールに切り替えます。

## コールパーク

電話を使用して通話をパーク保留にすることができます。

パーク保留された通話は、忘れないようにネットワークによって監視されます。コールがパーク保留状態になっている時間が長すぎる場合、アラートが発せられます。その後、元の電話で応答、拒否、または無視することができます。引き続き、別の電話機から通話を受けることもできます。

所定の時間内にコールに応答しない場合、管理者が設定した別の接続先（ボイスメールまたはその他の宛先）に通話がルーティングされます。

## コールパークを使用してコールを保留にする

電話機で応答したアクティブコールをパークした後、コール制御システム内の他の電話機を使ってそのコールを取得することができます。

コールパーク番号にパークできるコールの数は1つだけです。

管理者は、次の2つの方法のいずれかを使用してコールパークを設定できます。

- パークコールが電話機画面に表示され、[再開 (Resume)] を押すと通話を再開できます。パークコールの回線番号が回線に表示されます。
- パークコールの回線番号がポップアップウィンドウに表示されます。回線がアイドル状態になります。この場合、回線をダイヤルして、パークコールをピックアップします。

### 始める前に

コールがアクティブでなければなりません。

### 手順

---

**ステップ1** [パーク (Park) ]を押した後、電話を切ります。

**ステップ2** (任意) パークされた番号を、コールに回答すべき担当者に伝達します。

---

## コールパークを使用して保留中コールを取得する

コールパークは、次の2つの方法で設定できます。

- パークされた通話は電話機に表示され、ユーザが応答できます。
- ユーザは通話に回答するために表示された番号をダイヤルする必要があります。

Cisco Unified Communications Manager の [コールパーク (Call Park) ]の [専用1回線 (Dedicate one line) ]フィールドを設定して、この機能を有効または無効にします。デフォルトでは、この機能は有効です。

### 始める前に

コールのパークに使用された番号が必要です。

### 手順

---

通話がパークされたときの番号を入力して通話を取得します。


---

## コールの転送

コールをお使いの電話機から別の番号に転送することができます。

コールを転送するには、次の2つの方法があります。

- すべてのコールを転送する
- 電話機がビジー状態の場合、または応答がない場合など、特殊な状況でコールを転送する。

電話が転送されると、画面に [すべてを転送 (Forward all) ]  アイコンが表示されます。

### 手順

---

**ステップ1** 電話機がアクティブでない場合は、[すべてを転送 (Forward All) ]を押します。

- ステップ2** 自分の電話機からダイヤルするのとまったく同じ方法で転送先番号を入力するか、最近の通話履歴からエントリを選択します。

---

#### 関連トピック

[セルフケア ポータル](#) (16 ページ)

## 通話の転送

アクティブコールを別の人に転送することができます。

### 別の担当者にコールを転送する

コールを転送した場合、他の担当者が応答するまでは、元のコールに接続した状態を保つことができます。これにより、コールから自分を切断する前に、相手と個別に話をできます。話す必要がない場合は、他の担当者が応答する前に通話を転送します。

また、通話から自分を切断する前に、両方の通話者の間で切り替えて、両者とそれぞれ個別に話し合うこともできます。

#### 手順

- 
- ステップ1** 保留中ではないコールで、**[転送 (Transfer)]** を押します。
- ステップ2** 別の担当者の電話番号を入力します。
- ステップ3** (任意) **[短縮ダイヤル (Speed dials)]** を押し、短縮ダイヤル番号を選択します。  
ナビゲーションクラスタを使用して、短縮ダイヤルウィンドウ内を移動し、短縮ダイヤル番号を選択します。
- ステップ4** (任意) 着信音が鳴るか、相手がコールに応答するまで待ちます。
- ステップ5** 再度 **[転送 (Transfer)]** を押します。
- 

### 転送を行う前の会話

コールを転送する前に、転送先の相手と会話することができます。転送を行う前に、元のコールと転送するコールを切り替えることもできます。

#### 始める前に

アクティブ コールを転送しなければならない場合があります。

### 手順

- 
- ステップ1 [転送 (Transfer)] を押します。
  - ステップ2 別の担当者の電話番号を入力します。
  - ステップ3 [切替 (Swap)] を押すと、保留中のコールに戻ります。
  - ステップ4 [転送 (Transfer)] を押して転送を開始します。
- 

## 電話会議とミーティング

1つのコールで複数の相手と話し合うことができます。別のユーザにダイヤルして、そのユーザをコールに追加することができます。複数の電話回線を使用している場合は、2つの回線をまたいで2つのコールに参加できます。

1つのコールで複数の相手と話し合うことができます。別のユーザにダイヤルして、そのユーザをコールに追加することができます。

会議コールに複数の参加者を追加する場合は、それぞれ数秒の間隔を空けて追加します。

会議ホストとして、会議から個々の参加者を削除できます。参加者全員が電話を切ると、会議は終了します。

## 他の人をコールに追加する

コール中に別の人を通話に追加できます。

### 手順

- 
- ステップ1 通話中に、[会議 (Conf)] を押します。
  - ステップ2 番号を入力します。
  - ステップ3 (任意) 着信音が鳴るか、相手がコールに応答するまで待ちます。
  - ステップ4 [会議 (Conf)] を押します。
- 

## 会議を確立する前にコール間を切り替える

通話相手を会議に追加する前に、その相手と会話することができます。また、その相手とのコールと会議コールとの間で切り替えることもできます。

### 手順

---

- ステップ1** 新しいコール参加者にコールしますが、その参加者を会議には追加しないでください。コールが接続されるまで待機します。
- ステップ2** 参加者と会議の間で切り替えるには、[切替 (Swap)] を押します。
- 

## 会議参加者の表示と削除

会議を作成した場合、会議に参加した最新の 16 人の参加者についての詳細を表示できます。また、参加者を削除することもできます。

### 手順

---

- ステップ1** 会議中に [詳細の表示 (Show Details)] を押すと、参加者のリストが表示されます。
- ステップ2** (任意) いずれかの参加者を強調表示して [削除 (Remove)] を押すと、その参加者が会議から削除されます。
- 

## ボイスメール

電話機からボイス メッセージに直接アクセスすることができます。管理者がボイスメールアカウントを設定し、ボイスメールシステムにアクセスする前に、電話機をセットアップする必要があります。

電話機の [メッセージ (Messages)] ソフトキーは、ボイスメール システムへの短縮ダイヤルとして機能します。



- (注) 会議用電話が、会議室で使われる共有電話である場合は、メッセージ ソフトキーが表示されないことがあります。
- 

着席していない場合は、ボイスメールシステムを呼び出してボイスメールにアクセスすることができます。管理者は、外線電話番号を提供できます。



- (注) このドキュメントは、お使いの電話機の一部ではないため、ボイスメールの情報が限定されています。これは、社内で購入したサーバとファームウェアを使用した個別のコンポーネントです。ボイスメールの設定と使用の詳細については、<https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unity-connection/products-user-guide-list.html>にある *Cisco Unity Connection* 電話インターフェイスのユーザガイドを参照してください。

## 新しいボイスメッセージの確認

新しいボイスメールメッセージがあるかどうかを確認するため、不在着信やボイスメールメッセージの数が画面に表示されます。新しいメッセージの数が99を超えると、プラス (+) 記号が表示されます。

また、オフフックダイヤルを使用する場合、スピーカーで断続トーンが再生されます。この断続トーンは回線によって異なります。断続トーンは、ボイスメッセージがある回線を使用しているときにのみ聞こえます。

### 関連トピック

[セルフケア ポータル](#) (16 ページ)

## ボイスメールメッセージへのアクセス

現在のボイスメールメッセージを確認したり、古いメッセージを再度聞くことができます。

### 始める前に

各ボイスメールシステムは異なるため、管理者または IT 部門に問い合わせ、会社が使用しているシステムを確認してください。このセクションは、多くのお客様がその製品をボイスメールシステムに使用しているため、Cisco Unity Connection が対象です。ただし、会社が別の製品を使用している場合があります。

### 手順

**ステップ 1** [メッセージ (Messages) ] ボタンを押します。

**ステップ 2** 音声プロンプトに従います。







## 第 3 章

# 連絡先

---

- [社内ディレクトリ \(Corporate Directory\)](#) (49 ページ)
- [パーソナルディレクトリ](#) (49 ページ)
- [Cisco Web Dialer](#) (53 ページ)

## 社内ディレクトリ (Corporate Directory)

電話機で同僚の番号を検索して簡単に電話をかけることができます。管理者がこのディレクトリを設定し、保守します。

## 社内ディレクトリの連絡先のダイヤル

### 手順

---

- ステップ 1 [連絡先] を押します。
  - ステップ 2 [社内ディレクトリ (Corporate Directory)] を選択します
  - ステップ 3 検索条件を選択します。
  - ステップ 4 検索条件を入力し、[送信 (Submit)] を押します。
  - ステップ 5 連絡先を選択し、[ダイヤル (Dial)] を押します。
- 

## パーソナルディレクトリ

パーソナルディレクトリを使用して、友人、家族、同僚などの連絡先情報を保管できます。パーソナルディレクトリに独自の連絡先を追加できます。よく通話する相手用の特別な短縮ダイヤルコードを追加できます。

パーソナルディレクトリは、電話機またはセルフ ケア ポータルから設定できます。電話機を使用して、短縮ダイヤルコードをディレクトリ エントリに割り当てます。

### 関連トピック

[セルフケア ポータル](#) (16 ページ)

## パーソナルディレクトリのサインインおよびサインアウト

### 始める前に

パーソナルディレクトリにログインする前に、ユーザ ID と PIN (暗証番号) が必要です。これらの情報が不明な場合は、管理者にお問い合わせください。

### 手順

- 
- ステップ 1 [連絡先] を押します。
  - ステップ 2 [パーソナルディレクトリ (Personal directory) ] を選択します。
  - ステップ 3 ユーザ ID と PIN を入力して、[送信 (Submit) ] を押します。
  - ステップ 4 サインアウトするには、[ログアウト (Log out) ] を選択し、[選択 (Select) ] を押してから [OK] を押します。
- 

## パーソナルディレクトリに新しい連絡先を追加する

### 手順

- 
- ステップ 1 [連絡先] を押します。
  - ステップ 2 パーソナルディレクトリにサインインします。
  - ステップ 3 [個人用アドレス帳 (Personal Address Book) ] を選択して、[送信 (Submit) ] を押します。
  - ステップ 4 [新規 (New) ] を押します。
  - ステップ 5 名、姓、およびオプションでニックネームを入力します。
  - ステップ 6 [電話 (Phones) ] を押し、電話番号および必要に応じてアクセスコードを入力して、[送信 (Submit) ] を押します。
- 

## パーソナルディレクトリの連絡先の検索

### 手順

- 
- ステップ 1 [連絡先] を押します。
  - ステップ 2 パーソナルディレクトリにサインインします。

- ステップ3 [個人アドレス帳 (Personal Address Book) ] を選択します。
- ステップ4 検索条件を選択します。
- ステップ5 検索条件を入力し、[送信 (Submit) ] を押します。

---

## パーソナル ディレクトリ内の連絡先への発信

### 手順

---

- ステップ1 [連絡先] を押します。
- ステップ2 パーソナル ディレクトリにサインインします。
- ステップ3 [パーソナルディレクトリ (Personal directory) ] を選択して、エントリを検索します。
- ステップ4 ダイアルする個人アドレス帳のエントリを選択します。
- ステップ5 目的のファスト ダイアル コードを選択して、[コール (Call) ] を押します。

---

## ファスト ダイアル コードの連絡先への割り当て

ファスト ダイアル コードを使うと、連絡先へのコールが簡単になります。

### 手順

---

- ステップ1 [連絡先] を押します。
  - ステップ2 パーソナル ディレクトリにサインインします。
  - ステップ3 [個人アドレス帳 (Personal Address Book) ] を選択します。
  - ステップ4 検索条件を選択します。
  - ステップ5 検索条件の情報を入力して [送信 (Submit) ] を押します。
  - ステップ6 連絡先を選択します。
  - ステップ7 [ファスト ダイアル (FastDial) ] を押します。
  - ステップ8 番号を選択し、[選択 (Select) ] を押します。
  - ステップ9 割り当てられていないファスト ダイアル インデックスまでスクロールし、[送信 (Submit) ] を押します。
-

## ファストダイヤルコードを使用した連絡先への発信

### 手順

---

- ステップ1 [連絡先] を押します。
  - ステップ2 パーソナルディレクトリにサインインします。
  - ステップ3 [個人ファストダイヤル (Personal Fast Dials)] を選択し、ファストダイヤルコードまでスクロールします。
  - ステップ4 目的のファストダイヤルコードを選択して、[コール (Call)] を押します。
- 

## パーソナルディレクトリの連絡先を編集する

### 手順

---

- ステップ1 [連絡先] を押します。
  - ステップ2 パーソナルディレクトリにサインインします。
  - ステップ3 [個人用アドレス帳 (Personal address book)] を選択し、エントリを検索します。
  - ステップ4 [選択 (Select)]、[編集 (Edit)] の順に押します。
  - ステップ5 エントリの情報を変更します。
  - ステップ6 [電話 (Phones)] を押して、電話番号を変更します。
  - ステップ7 [更新 (Update)] を押します。
- 

## パーソナルディレクトリから連絡先を削除する

### 手順

---

- ステップ1 [連絡先] を押します。
  - ステップ2 パーソナルディレクトリにサインインします。
  - ステップ3 [個人アドレス帳 (Personal Address Book)] を選択し、エントリを検索します。
  - ステップ4 [選択 (Select)]、[編集 (Edit)]、[削除 (Delete)] の順に押します。
  - ステップ5 [OK] を押して、削除を確認します。
-

## ファストダイヤルコードの削除

### 手順

- 
- ステップ1 [連絡先] を押します。
  - ステップ2 パーソナルディレクトリにサインインします。
  - ステップ3 [個人ファストダイヤル (Personal Fast Dials)] を選択し、ファストダイヤルコードを検索します。
  - ステップ4 必要なコードを選択して、[削除 (Remove)] を押します。
  - ステップ5 インデックスを選択して、[削除 (Remove)] を押します。
- 

## Cisco Web Dialer

Cisco Web Dialer、Web ブラウザ、および Cisco IP 電話を使用して、Web アプリケーションやデスクトップアプリケーションから電話を発信できます。Web ブラウザを使用して Web サイトまたは社内ディレクトリに移動し、ハイパーリンクの付いた電話番号をクリックするとコールが開始されます。

コールを発信するにはユーザ ID とパスワードが必要です。これらの情報は管理者から与えられます。初めて使用するユーザは、通話開始前に個人設定を行う必要があります。

詳細については、<https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/products-installation-and-configuration-guides-list.html>にある「『Cisco Web Dialer』」マニュアルを参照してください。





## 第 4 章

# 通話履歴

---

- [最近の通話リスト](#) (55 ページ)
- [最近の通話履歴を表示する](#) (55 ページ)
- [最近の通話履歴に戻る](#) (56 ページ)
- [最近の通話履歴を消去する](#) (56 ページ)
- [コールレコードの削除](#) (56 ページ)

## 最近の通話リスト

履歴リストを使用すると、最近の 150 件の個別コールおよびコールグループを確認できます。履歴リストが最大サイズに到達すると、次の新しいエントリによりリスト内の最も古いエントリが上書きされます。

コール履歴リストに含まれるコールのうち、同じ番号の発信先/着信元が連続している場合はグループにまとめられます。また、同じ番号からの不在着信もグループにまとめられます。

ハントグループを使用する場合は、次の点に注意してください。

- お使いの電話機がブロードキャストハントグループの一部である場合、ハントグループの他のメンバーが出た通話は、通話履歴に [受信された通話 (Received call)] と表示されません。

## 最近の通話履歴を表示する

最近誰からコールがあったかを確認できます。

### 手順

---

[**通話履歴 (Recent)**] を選択します。

電話機がアイドル状態の場合、ナビゲーションクラスタを上を押すことによって通話履歴リストを表示することも可能です。

---

## 最近の通話履歴に戻る

一度コールがあった発信元には簡単にコールできます。

### 手順

---

- ステップ1 [通話履歴 (Recent)] を選択します。
  - ステップ2 ダイヤルする番号を選択します。
  - ステップ3 [通話] を押します。
- 

## 最近の通話履歴を消去する

電話機の履歴リストをクリアすることができます。

### 手順

---

- ステップ1 [通話履歴 (Recent)] を選択します。
  - ステップ2 [クリア (Clear)] を押します。
  - ステップ3 [削除 (Delete)] を押します。
- 

## コールレコードの削除

[通話履歴 (Recents)] を編集して、1つのコールを履歴から削除できます。[通話履歴 (Recents)] には 150 コールしか保持できないので、こうすることで重要な連絡先情報を保持できます。

### 手順

---

- ステップ1 [通話履歴 (Recent)] を選択します。
- ステップ2 削除する個々のレコードまたはコールグループを強調表示します。
- ステップ3 [削除 (Delete)] を押します。



**ステップ 4** もう一度 [削除 (Delete) ] を押して確定します。

---





## 第 5 章

### 設定

---

- 呼出音の変更 (59 ページ)
- 着信音量の調節 (59 ページ)
- コール中に音量を調節する (60 ページ)
- 電話機の表示言語 (60 ページ)

### 呼出音の変更

電話機が着信コールに使用する音を変更できます。

#### 手順

---

- ステップ 1 [設定 (Settings)] > [初期設定 (Preferences)] > [呼出音 (Ringtone)] を選択します。
  - ステップ 2 回線を選択します。
  - ステップ 3 呼出音のリストをスクロールし、[再生] を押してサンプルを聞きます。
  - ステップ 4 [設定 (Set)] を押して、呼出音を使用します。
- 

### 着信音量の調節

コールの着信音量が大きすぎるか小さすぎる場合は、音量を調節できます。着信音量の変更は、コール中の通話音量には影響しません。

#### 手順

---

電話機を使用していないときに音量を上または下に押すと、音量を調整できます。

---

## コール中に音量を調節する

ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカーフォンの音量が大きすぎるか小さすぎる場合は、相手の声を聞きながら音量を調節できます。コール中に音量を変更すると、その変更はその時点で使用しているスピーカーのみに影響します。たとえば、ヘッドセットの使用時に音量を調整すると、ハンドセットの音量は変化しません。

### 手順

---

通話中に [音量 (Volume)] を上または下に押すと、音量を調節できます。

---

## 電話機の表示言語

電話機は、多くの言語でテキストを表示できます。管理者が電話機で使用される言語を設定します。言語を変更する場合は、管理者に問い合わせてください。



## 第 6 章

# アプリケーション

---

- 使用できるアプリケーション (61 ページ)
- アクティブアプリケーションの表示 (61 ページ)
- アクティブアプリケーションへの切り替え (62 ページ)
- アクティブアプリケーションの終了 (62 ページ)

## 使用できるアプリケーション

デフォルトでは、シスコの電話機にこれらのアプリケーションは含まれていません。天気、株式情報、社内ニュース、行うべき作業のリストなどの情報やサービスを提供するアプリケーションが企業によって追加される場合があります。

## アクティブアプリケーションの表示

すでに開いているアプリケーションを簡単に確認できます。

### 手順

---

- ステップ 1 [設定 (Settings)] を押します。
  - ステップ 2 [実行中のアプリケーション (Running applications)] を選択します。
  - ステップ 3 [終了 (Exit)] を押します。
-

## アクティブアプリケーションへの切り替え

### 手順

---

- ステップ1 [設定 (Settings)] を押します。
  - ステップ2 [実行中のアプリケーション (Running applications)] を選択します。
  - ステップ3 実行中のアプリケーションを1つ選択して[切り替え (Switch to)] を押すと、選択したアプリケーションを開いて使用できます。
  - ステップ4 [終了 (Exit)] を押します。
- 

## アクティブアプリケーションの終了

### 手順

---

- ステップ1 [設定 (Settings)] を押します。
  - ステップ2 [実行中のアプリケーション (Running applications)] を選択します。
  - ステップ3 実行中のアプリケーションを1つ選択し、[閉じる (Close app)] を押してアプリケーションを閉じます。
  - ステップ4 [閉じる (Close)] を押して、[終了 (Exit)] を押します。
-



## 第 7 章

# の製品安全性とセキュリティ

- [準拠宣言 \(63 ページ\)](#)
- [シスコ製品のセキュリティの概要 \(64 ページ\)](#)
- [重要なオンライン情報 \(65 ページ\)](#)

## 準拠宣言

### EU への適合宣言

#### CE マーク

機器および包装に次の CE マークが貼付されています。



### 適合宣言 (カナダ)

このデバイスは、カナダ政府産業省のライセンス適用免除 RSS 規格に適合しています。次の 2 つの条件に従って動作するものとします。(1) 本製品が干渉の原因となることはありません。また、(2) 本製品はデバイスの望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む、すべての干渉を受け入れる必要があります。この電話機を使用する場合、通信のプライバシーを確保できない可能性があります。

本製品は、該当する技術革新、科学および経済開発に関するカナダの技術仕様を満たしていません。

#### **Avis de Conformité Canadien**

Cet appareil est conforme aux normes RSS exemptes de licence RSS d'Industry Canada. Le fonctionnement de cet appareil est soumis à deux conditions : (1) ce périphérique ne doit pas causer d'interférence et (2)

ce périphérique doit supporter les interférences, y compris celles susceptibles d'entraîner un fonctionnement non souhaitable de l'appareil. La protection des communications ne peut pas être assurée lors de l'utilisation de ce téléphone.

Le présent produit est conforme aux spécifications techniques applicables d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada.

## FCC 準拠宣言

Federal Communications Commission (FCC; 連邦通信委員会) は、次の項目に関する準拠宣言を義務付けています。

### FCC Part 15.21 宣言

装置に対し、準拠に責任を負う関係者によって明示的に承認されていない変更または修正を加えると、ユーザがこの装置を使用する権利は無効になります。

### FCC RF 被曝に関する宣言

この装置は、制御されていない環境に対して規定された FCC 被曝制限に準拠しています。エンドユーザは、特定の操作マニュアルに従い、RF 被曝に関する準拠事項を満たす必要があります。このトランスミッタは、ユーザから 20 cm 以上離して使用する必要があります。他のアンテナまたはトランスミッタと同じ場所に配置したり、同時に操作したりすることはできません。

### FCC レシーバーおよびクラス B デジタル装置に関する宣言

この製品はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定されたクラス B デジタル装置の仕様に準拠しています。これらの制限は、住宅地で使用したときに、有害な干渉を防止する適切な保護を規定したものです。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、手順に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起ることがあります。ただし、特定の設置条件において干渉が起きないことを保証するものではありません。

装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合、装置のオン/オフを切り替えると干渉を確認できます。その場合は、次の方法で干渉が起きないようにしてください。

- 受信アンテナの方向または場所を変更する。
- 装置間の間隔を大きくする。
- 装置をレシーバーとは別のコンセントに接続する。
- 販売店または経験豊富なラジオまたは TV 技術者に支援を要請する。

## シスコ製品のセキュリティの概要

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国の法律の対象となります。Cisco の暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術



の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意したものと見なされます。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

米国の輸出規制の詳細については、<https://www.bis.doc.gov/policiesandregulations/ear/index.htm>をご覧ください。

## 重要なオンライン情報

### エンドユーザライセンス契約書

エンドユーザライセンス契約書（EULA）は次の場所にあります。<https://www.cisco.com/go/eula>

### 『Regulatory Compliance and Safety Information』

Regulatory Compliance and Safety Information（RCSI）は次の場所にあります。

